

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 1 月 13 日 (2011.1.13)

【公開番号】特開 2009-242453 (P2009-242453A)

【公開日】平成 21 年 10 月 22 日 (2009.10.22)

【年通号数】公開・登録公報 2009-042

【出願番号】特願 2008-87485 (P2008-87485)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/03 (2006.01)

C 0 8 K 3/34 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/335 (2011.01)

G 0 3 B 9/00 (2006.01)

G 0 3 B 17/14 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 67/03

C 0 8 K 3/34

C 0 8 K 3/04

G 0 2 B 7/02 Z

H 0 4 N 5/225 D

H 0 4 N 5/335 V

G 0 3 B 9/00

G 0 3 B 17/14

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 11 月 1 日 (2010.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

液晶ポリエステル 100 質量部に対して、数平均粒径が 10 ~ 50 μm のタルク 50 ~ 110 質量部、カーボンブラック 2 ~ 10 質量部配合してなり、荷重たわみ温度が 220 以上、せん断速度 100 s^{-1} 、370 における溶融粘度が 10 ~ 150 $\text{Pa} \cdot \text{s}$ であることを特徴とするカメラモジュール用液晶ポリエステル樹脂組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

上記構造単位の組み合わせとしては、

(A1)

(A1)、(B1)、(C1)

(A1)、(B1)、(B2)、(C1)

(A1)、(B1)、(B2)、(C2)

(A 1)、(B 1)、(B 3)、(C 1)

(A 1)、(B 1)、(B 3)、(C 2)

(A 1)、(B 1)、(B 2)、(C 1)、(C 2)

(A 1)、(A 2)、(B 1)、(C 1)

が好ましく、特に好ましいモノマー組成比としては、p - ヒドロキシ安息香酸、テレフタル酸、4 , 4 ' - ジヒドロキシビフェニル（これらの誘導体を含む。）を80 ~ 100モル%と、これら以外の芳香族ジオール、芳香族ヒドロキシジカルボン酸及び芳香族ジカルボン酸からなる群から選択される芳香族化合物0 ~ 20モル%（両者を合わせて100モル%とする。）である。p - ヒドロキシ安息香酸、テレフタル酸、4 , 4 ' - ジヒドロキシビフェニルが80モル%未満になると、耐熱性が低下する傾向にあり、好ましくない。